

- 石井会長 年頭あいさつ-----①
- 東西計コン、親睦ゴルフコンペ実施報告---②
- 計コン資格認定講習会、計量記念日行事---③
- 会員のひろば「計量コラム」ほか-----④

Libra Vol. B040
2015年1月1日発行

発行/一般社団法人 計量器コンサルタント協会
東京都新宿区納戸町 25-1
TEL 03-6666-8960 FAX 03-6666-8970

計量の安心・安全・信頼を推進する
計量器コンサルタント

会の運営のため会員各位に提案のお願い 石井康二会長の年頭あいさつ



会員の皆様、
明けましてお
めでとうござ
います。

皆様におか
れましては、輝
かしい新年を
お迎えのこと
と拝察いたし
ます。

また、日頃よ
り協会の活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、念頭にあたりご挨拶をさせていただきます。昨年中、当協会
で実施した行事には「平成 25 年度第 3 回技術研修会」「平成 26
年度第 1 回見学会」「定時総会・講演会」「東西計コン交流会」
「第 1 回計コンゴルフコンペ」がございました。

各行事につきましては機関誌「Libra」にて詳細報告をさせ
て頂いております通り皆様のご協力もあり、概ね計画通り遂行
できました。が、10 月に実施した「東西計コン交流会」におい
て、参加頂いた皆様に多大なご迷惑をお掛けしてしまいました。
交通事故渋滞により、行程が予定通り進まず懇親会場に到着出
来ない事態となってしまったのです。時間の制約もありそのまま
大阪にお戻りになる方も多くいらっしゃいました。本当にご
迷惑をおかけしてしまいました。この場を借りて改めてお詫び
申し上げます。大変に申し訳ございませんでした。事故渋滞は
予想できないこととは言え、二度と繰り返してはならないと猛
省しております。今後は入念な計画と余裕を持った行程で対処
するよう担当理事及び理事会にて検討することと致しますの
でご容赦頂きますようお願い申し上げます。

11 月には、初の試みで「第 1 回計コンゴルフコンペ」を実
施しました。魅力ある協会を目指して、出来ることから始めて
みようと思われたところ関係団体からの参加を含め 11
名のご参加を頂きました。当日は、晴天にも恵まれ穏やかな一
日で、とても楽しく過ごすことが出来ました。今後は年 2 回程
度の開催が出来ればと考えております。そしてゴルフだけではなく、
サイクリングやボーリング、山歩きといった、会員相互

の趣味を通じた交流も実施していきたいと思っております。計
量業界の中で同じ志を持つ仲間同士が親睦を深め、情報を密に
し、自分自身の成長と社業の発展、如いては業界全体の発展に
貢献が出来るようになれば素晴らしいことではありませんか。
少し理想が高過ぎるかも知れませんが、自分たちで出来ること
からひとつずつ進めていきたいと思っております。

業界関連のニュースとしては、昨年 11 月に約 2 年ぶりに「計
量器コンサルタント資格認定講習会」が東京の計量会館にて開
催されました。参加者は、計量器の販売事業従事者を中心に全
34 名が受講され新たに計量器コンサルタントの資格を取得さ
れました。講義は、計量法の基礎・計量管理の概要・計量器の
知識・測定トレーサビリティに大別され、埼玉県計量協会の
金井一榮副会長が担当されました。当協会としては、新規会員
を獲得する絶好の機会と捉え、講義の最後に当協会の紹介と加
入への勧誘を行いました。欲を言えば資格取得者全員に入会し
て頂きたいところではありますが、強制ではありませんので簡
単にはいきません。年会費のご負担もお願いしなければなりませ
んし、まだまだ、魅力ある会としての活動も不十分です。しか
し、結果は 12 月末現在で 4 名の新入会員を迎えることが出来
ました。引き続き、今回未加入の資格取得者につきましては、
機会を見て勧誘をしていきたいと思っております。そこで会員の皆様
にお願いがございます。もし、皆様の周りで、計コン資格取得
者がいらっしゃいましたら入会のご案内を改めてお願い申し
上げます。また、既協会員であることを PR するため会員バッ
ジの装着や名刺への掲載を積極的に行って頂くようお願い申し
上げます。せっかく取得した計コンの資格を活用しない手は
ありません。当協会に入会し資格を有意義に活用するように声
掛けをお願い申し上げます。

最後に改めて皆様をお願いがございます。繰り返しになりま
すが、魅力ある協会、作りに欠かせないのは会員各位のご理解
とご協力に他なりません。こんなことは出来ないか？こんな研
修会をやって欲しい、この施設の見学は出来ないか？等々、ア
イデアまたはご意見などどんなことでも構いません。事務局ま
でお寄せいただければと思います。皆様の積極的なご提案をお
待ち申し上げておりますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

2014 東西計コン 10 月 21 日に実施



相模原の TAXA で説明を聞く



東芝エレベータにて

X A 相模原キャンパスを見学し、午後は大阪府計量器連合会から 10 名と当協会から 1 名が合流して東芝エレベータ(株)府中工場を見学した。

午前の J A X A 相模原キャンパスでは宇宙科学研究所広

当協会は、2014 年 10 月 21 日の火曜日、「第 23 回東西計量器コンサルタント合同研修会」を午

前は(独)宇宙航空研究開発機構(以後、J A X A)相模原キャンパス、午後は東芝エレベータ(株)府中工場

で実施した。午前は当協会から 13 名が J A

報・普及係の並木氏から 1 F 展示スペースにて様々な展示物を事細かに説明していただいた。特に昨年 1 2 月 3 日に打ち上げが成功した「はやぶさ 2」の模型を見ながら今回新たに導入した動力源「新型「イオンエンジン」などの説明があり、数々の質疑応答が出るなど我々見学者の興味を引いた。「はやぶさ 2」は約 3 年半で小惑星に着き、2020 年 12 月ごろに帰還する予定。

午後は、新横浜駅で大阪府計量器連合会の計コンメンバーと合流し、府中市の東芝エレベータ(株)へ向かったが、途中の渋滞の影響で大幅に到着が遅れた。到着早々に会議室で東芝エレベータ(株)の概要と府中工場の解説が行われ、続いて工場内を 2 台の電気バスに分乗して見学した。大形の工作機械が稼働する迫力の現場である一方、最後の工程は、意外と人の目と手による作業がによって完成するのが印象深かった。

東芝エレベータ(株)を出たあとは、懇親会の会場をめざして、横浜中華街へ向うもさらに激しい渋滞によって、大幅に予定がずれて、途中の川崎駅で全員降りて、電車で向かうこととなった。帰りの電車の都合で、大阪府計量器連合会の参加者の大半がここで帰阪する残念な結果となった。

第 1 回親睦ゴルフコンペ栃木県鹿沼で開催

当協会は、2014 年 11 月 23 日の日曜日、栃木県鹿沼市の「南摩城カントリークラブ」にて晴天の中、当協会員が 7 名、(一社)日本計量振興協会(以後、日計振)から 2 名、(一社)東京都計量協会(以下、都計協)から 2 名の 11 名で開催された。

結果は以下の通り。(競技方法：新ペリア、スコアカット：ダブルパー) 次回は今年の春に開催予定。



優勝者の加藤覚氏(左)

順位	氏名	企業名(※は当協会員)	中コース	東コース	GROSS	HDCP	NET
優勝	加藤 覚	(一社)日計振	43	46	89	16.8	72.2
準優勝	居鶴 義雄	(株)ワーク衡業 ※	53	49	102	28.8	73.2
3 位	石井 康二	太陽計器(株) ※	62	54	116	42.2	74.0
4 位	永井 洋文	(一社)都計協	48	47	95	18.0	77.0
5 位	大森 規雄	共栄衡器(株) ※	51	47	98	20.4	77.6
6 位	安保 竹男	(一社)日計振	50	47	97	19.2	77.8
7 位	松村 卓	(株)テイク松定 ※	57	51	108	30.0	78.0
8 位	小林 理生	(一社)都計協	61	59	120	42.0	78.0
9 位	森田 暁星	(株)テラオカ ※	64	53	117	36.0	81.0
10 位	大森 健次	共栄衡器(株) ※	66	53	119	36.0	83.0
11 位	片桐 直樹	(株)テラオカ ※	62	61	123	38.4	84.6

計量器コンサルタント資格認定講習会を実施

(一社)日本計量振興協会と(一社)東京都計量協会が主催の「平成26年度計量器コンサルタント資格認定講習会」が、約2年ぶりに、東京都で実施された。実施日は11月18日、会場は東京都新宿区の日本計量会館大会議室。資格認定者は34名だった。当協会も講習会実施に当たり、会員がボランティアで協力し、大いに貢献した。

この講習会は、計量器販売事業に関する規制の変遷、計量機器のデジタル化等の技術革新と機種別法規制やグローバル化による新たな法規制などが定められるなど、大きく変化している。このような情勢の中で、計量器をエンドユーザーに供給する事業者には、行政の指導に頼ることのない自助努力により、時代の変化に正しく対処することが求められ、計量器の販売者がその専門性を高め、計量器のユーザーのニーズに対応する適

切なコンサルティングと情報提供ができる「計量器コンサルタント」を育成するのが目的で実施されている。計量器コンサルタントの制度は、計量器の安全、安心、安定を供給する目的で昭和47年に発足した。

コンサルタント制度の実施運営は、(一社)日本計量振興協会と全国計量器販売事業者連合会および地区計量協会が協同でおこなっており、日本計量振興協会が資格証明書を発行している。

現在、コンサルタント資格認定研修は、東京都、大阪府を中心に実施されているが、全国的にみると地域により活動の偏りがみられ、全国規模での制度の整備と研修実施内容の見直し・統一化を図るため、平成20年度から全国共通の研修テキストを作成し、計量器コンサルタント資格認定講習会を開催している。

11月1日「計量記念日」関連記念行事

■11月1日「都民計量のひろば」に協力

東京都計量検定所および都内の計量関係団体で構成された都民計量のひろば実行委員会が主催の「平成26年度都民計量のひろば」が、11月1日、東京都新宿区の新宿駅西口地下広場イベントコーナーで盛大に催された。今年のテーマは「くらし



と計量」(サブテーマ：正しい計量大きな安心)。

都民計量のひろばは、ゲームや健康

チェック、クイズなどで楽しみながら計量への関心を高めてもらうことを目的に東京都をはじめ関連団体が協力して開催

■11月4日「計量記念日全国計量大会」で2会員が大臣表彰

第63回経済産業大臣表彰(計量関係功労者)に2014年度は11氏を選出した。

経済産業大臣表彰の受賞者は、2014年11月4日、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開催した計量記

している。

今年は、土曜日と重なりまた3連休の初日だったため、例年以上の来場者を見込んで記念品なども多数用意して臨んだ。

午前10時半にオープンしたあと急に天気が崩れ、大雨となってしまうが、地上に行く人が、地下へ流れてきのか、例年以上の賑わいとなった。

当協会は、今回も「健康と計量コーナー」を担当し、業務用の各種機器を使つての血圧測定、体組成測定、骨強度測定。

学校も休みのため親子連れが多く訪れてきて、各ブースとも盛況だった。また買い物や散歩途中といった様子の2~4人連れのグループや、日頃から健康に気を付けている人などが、健康チェックやクイズ、ゲームに参加していた。

「都民計量のひろば」は、毎年、計量記念日に都民の方々に楽しみながら計量への関心を高めてもらうことを目的に1980(昭和55)年から開催している。

念日全国大会の計量記念日式典(経済産業省主催)で表彰された。同日は、計量関連団体等で組織する計量記念日組織委員会主催の記念行事も開催された。

第63回経済大臣表彰(計量関係功労者)には11氏が選ばれた。

この表彰は、計量関係事業者、計量関係団体の職務において、多年にわたって計量関係事業の発展、計量器の発達・改善、計量思想の普及または計量行政の運営等に尽力し、その功績が顕著である人を表彰するもの。

今回の表彰者のなかには当協会の、榎本靖朗氏(写真左：双葉計器工業(株)代表取締役社長)と近藤正孝氏(写真左：(株)三友産業社代表取締役社長)が選ばれた。



・会・員・の・ひ・ろ・ば・ 「計量コラム」保護等級 IP 表示

私たち計量人が知ってるつもりが？ そんな用語を調べてみました。

「保護等級IP表示」デジタルはかりのカatalog、説明書等に表記されている保護等級IP表示について説明します。

【解説】

●IP説明 IPとはJIS C 0920:2003又は、IEC 60529に基づいて規定された固形異物、水に対する電気機器、キャビネットの保護等級表示です。

●IP表示説明 IP 6 5
① ② ③

①保護特性記号

②第1記号（人体及び固形異物に対する保護等級0～6）

③第2記号（水の侵入に対する保護等級0～8）

第1記号説明

人体及び固形異物に対する保護		
第1記号	種類	保護の程度
0	無保護	特に保護されていない。
1	50mmより大きい固形物に対する保護	人体の表面積の大きな部分、例えば手などが誤って内部の充電部や可動部に接触する恐れがない。直径50mmを超える固形物体が内部に侵入しない。
2	12.5mmより大きい固形物に対する保護	指先、又は長さが80mmを超えない指先類事物が内部の充電部や可動部に接触する恐れがない。直径12.5mmを超える固形物体が内部に侵入しない。
3	2.5mmより大きい固形物に対する保護	直径又は厚さが2.5mmを超える工具やワイヤなどの固形物体の先端が内部に侵入しない。
4	1.0mmより大きい固形物に対する保護	直径又は厚さが1.0mmを超えるワイヤや銅帯などの固形物体の先端が内部に侵入しない。
5	防塵型	粉塵が内部に侵入することを防止する。若干の粉塵の侵入があっても正常な運転を阻害しない。
6	耐塵型	粉塵が内部に侵入しない。

第2記号説明

水の侵入に対する保護		
第2記号	種類	保護の定義
0	無保護	特に保護されていない。
1	滴下する水に対する保護	鉛直に落下する水滴によって有害な影響を受けない。
2	15°傾斜した時落下する水に対する保護	正常な取付位置より15°以内の範囲で傾斜した時、鉛直に落下する水滴によって有害な影響を受けない。
3	噴霧水に対する保護	鉛直から60°以内の噴霧状に落下する水によって有害な影響を受けない
4	飛沫に対する保護	いかなる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けない。
5	噴流水に対する保護	いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない。
6	暴噴流に対する保護	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。
7	浸漬に対する保護	規程の圧力及び時間で外郭を一時的に水中に沈めたとき、有害な影響を生じる量の水の侵入があってはならない。

※第2記号、8については、特に規定はなく、使用者間との取り決めとなるので省略します。

編集後記

みなさま明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

新年早々にお詫びです。本紙『Libra1月号』の発行が大幅に遅れてしまい大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今後はこのようなことが無いよう注意いたします。

さて2015年の年明けはいかがだったでしょうか。近年暖かかった正月を迎えていたこの身には、子供のころを思い出させる

ぐらいの寒い日が続いたお正月だったと感じました。

石井会長の年頭挨拶でございます通り、会員の皆様のお知恵を事業に反映させていき、一人でも多くの会員の方々に協会活動にご賛同・ご協力をいただきながら、ともに発展させていけましたら幸いです。

2015年も計量器コンサルタント協会をお願い申し上げます。

Libra編集部一同